

科目名	基礎柔道整復学Ⅱ						
分野	専門分野	担当教員	早川 雅成				
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	実技	演習	実習	
時間数	60		4				
科目の概要	上肢骨折(鎖骨骨折から前腕遠位端部骨折)						
学習の到達目標	過去の国家試験レベルの問題で正答を示すことができる。選択肢等, 文や用語につき解説できる。※ 要所で問題・解答解説を行う						
成績評価の方法と基準	本学の規定に準ずるが、授業態度(服装・頭髮含む)・授業に対する姿勢も考慮する。						
使用テキスト	柔道整復学理論編, 配付資料						
参考文献	骨折保存療法における基礎知識, Judo therapy, Judo therapy hand book 等						
実務経験を有する者	○						
講義計画	講義内容						
1	オリエンテーション(当該分野の意義, 学習の位置づけ等), 骨折総論, 用語の理解						
2	本科目に必要な解剖(骨・筋・支配神経), 合併症・後遺症に関する基本事項						
3	鎖骨骨折(発生機序から骨片転位・症状)						
4	鎖骨骨折(整復法から合併症・後遺症)						
5	肩甲骨骨折(上角から骨体部骨折)						
6	肩甲骨骨折(関節窩骨折から烏口突起骨折)						
7	上腕骨骨頭骨折・解剖頸骨折						
8	上腕骨外科頸骨折(発生機序から骨片転位・症状)						
9	上腕骨外科頸骨折(整復法から合併症・後遺症), 上腕骨大結節						
10	上腕骨小結節骨折, 上腕骨骨幹部骨折(発生機序から骨片転位・症状)						
11	上腕骨骨幹部骨折(整復法から合併症・後遺症)						
12	上腕骨顆上骨折(発生機序から骨片転位・症状)						
13	上腕骨顆上骨折(整復法から合併症・後遺症)						
14	上腕骨外顆骨折(発生機序から骨片転位・症状)						
15	総合評価(まとめ)						

16	上腕骨内側上顆骨折
17	橈骨頭, 橈骨頭周囲組織の解剖・機能解剖, 橈骨近位部(橈骨頭, 橈骨頸部)骨折 概説
18	尺骨近位部(肘頭)骨折
19	橈骨近位部(橈骨頭)骨折
20	橈骨近位部(橈骨頸部)骨折
21	小児の橈骨近位部(橈骨近位骨端線離開)骨折
22	前腕骨骨幹部周囲の局所解剖
23	橈骨骨幹部単独骨折(概説・骨片転位)
24	橈骨骨幹部単独骨折(整復・固定・合併症など)
25	ガレアジ骨折・尺骨骨幹部単独骨折
26	モンテギア骨折
27	橈骨遠位端部骨折(コーレス骨折)
28	橈骨遠位端部骨折(スミス骨折)
29	橈骨遠位端部骨折(その他の骨折)
30	総合評価(まとめ)

(2024年度)